

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2000-177711
起案日	平成16年 2月23日
特許庁審査官	石井 研一 8124 5X00
特許出願人代理人	△柳▽川 信 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

請求項1, 2, 3, 5について、

引用刊行物

(1) 特開平08-331093号公報

(図15及びその説明(段落番号0009)などを参照) または、

(2) 特開2000-092009号公報

(図30及びその説明(段落番号0011~0015)などを参照)

備考

OFDM通信方式において、複数の通信チャネルをサブキャリア群に割り当てることは、上記文献に開示がある。

また、その割り当て、変調方式などを必要に応じて変えることも慣用手段に過ぎない。

この拒絶理由通知書中で指摘した請求項以外の請求項に係る発明については、現時点では、拒絶の理由を発見しない。拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した技術分野 IPC第7版 H04L11/20
- ・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。